

令和4年度 日南市立榎原中学校 学校関係者評価書

【学校経営ビジョン】：学校の教育目標具現化に向けて教職員の資質向上を図り、保護者や地域社会と連携を深めながら子どもの知・徳・体バランスのとれた成長と、将来にわたってたくましく生きていく力を育む教育活動を推進する。
4段階評価 4:達成(期待以上) 3:ほぼ達成(ほぼ期待どおり) 2:不十分(やや期待を下回る) 1:改善を要する(期待を下回る)

評価項目	評価指標	自己評価		成果(○)・課題(●)及び改善策(★)	総合評価	関係者評価	学校関係者コメント		
		生徒	保護者						
感動する心、自他の命や人権を尊重する心、共生や寛容の心など豊かな人間性を育む。	1 全教育活動を通じた道徳教育の展開といのちの教育の充実	生徒	3.4	○学級担任、副担任間で連携して道徳の授業を行うことができた。 ○学期ごとにレインボープランを実施できた。また、情報モラルについても学習の機会を設けた。 ★道徳の授業においては、さらに授業での生徒の様子を伝え合えるとよい。	3.4	3.2	[指標1] ○ほぼ達成に限りなく近い。 ●生徒の評価が低いのが気になるようです。 [指標3] ●2.9の読書がすごくよいことと感ずます。何の本でもいいから、本にこれからも親しんでもらいたいです。 ●低評価が気になります。読書の意義の再確認をしてほしいものです。 [指標4] ○タブレットの特性を活用した指導がとても良いと思います。今後の新しい指導方法にもとても期待しています。 ただ、タブレットだけではなく、活字を読むことも大切だと思うので、読む力も同時につけてもらえたら、と思います。 ※タブレットを使用した授業を一度拝見したいものです。 [指標6] ※キャリア教育の必要性を保護者に今一度確認してもらいたいものです。 [指標4~8] 成功体験は非常に大事だと思います。勉強だけが全てではない。各人の得意分野でそういう体験をいっぱいさせてあげてください。		
		保護者	3.3						
		教師	3.4						
	2 人権・福祉教育、キャリア教育、平和教育、体験活動、ボランティア活動の推進	生徒	3.6	○ハンディキャップ体験など、福祉に関する学習や人権学習を行うとともに、心ない発言が見られた際には、機会を逃さず指導を行うことができた。 ○キャリア通信の発行や職場体験学習などにより、自分の生き方に関する意識が高まってきた。	3.5	3.4			
		保護者	3.5						
		教師	3.3						
	3 読書に親しむ生活環境づくり	生徒	2.9	○●読書を好み、朝読に静かに取り組んでいる生徒が多いが、内容が学年相応か疑問もある。 ●「うちどく」が計画的に回らなかった。対策を考えるべきであった。 ★「うちどく」のあり方を見直し、PTA活動として取り組みやすい形を模索していく。	2.9	2.6			
		保護者	2.9						
		教師	2.9						
「わかる」、「できる」を実感できる授業実践により、学ぶ楽しさや進んで学ぼうとする意欲を育てる。	4 基礎基本の定着と思考力・表現力の向上	生徒	3.7	○タブレット端末の使用率が上がり、よく活用されている。 ●タブレットの活用方法についてはさらに研鑽を重ねていく必要がある。 ★校内研修でも継続してタブレット活用について取り組んでいく。	3.4	3.4			
		保護者	3.5						
		教師	3.1						
	5 同僚性を活かし、教職員の指導力並びに人間力の向上を図る研修の充実	生徒	3.6	○一人一授業の実施や宮崎大学小林准教授による研修を通して、教員が意欲的にICTについて学び、活用することができた。 ●★ICT活用の技量については個人差があるが、今後も同僚性を生かして底上げをしていく。	3.6	3.8			
		保護者	3.6						
		教師	3.6						
	6 個に応じた学習支援体制(個別指導)の整備及びキャリア教育の推進	生徒	3.6	○キャリアパスポートの活用を推進している。 ○毎週行っている生徒理解の時間で、教員間の共通理解が図られ、指導につながっている。	3.4	3.8			
		保護者	3.1						
		教師	3.4						
	7 深める時間や確かめる時間を生かした自ら学ぶ意欲の向上	生徒	3.6	○各教科で過去問を用意し、解かせるだけではなく、解説まで行うことができています。	3.6	3.4			
		保護者	3.5						
		教師	3.5						
8 疑問をもち探究して解決しようとする姿勢の育成	生徒	3.4	○さまざまな学習活動や学校行事の中で、生徒一人一人が成功体験を味わうことができた。 ○計画的に学習を進めることができた。 ●★問いをもたせ、生徒主体で探究活動を行うために、教員が生徒を導きすぎないように注意する。	3.4	3.6				
	保護者	3.7							
	教師	3.2							
心身の健康増進と体力の向上を図る。	9 生徒会活動の充実	生徒	3.7	○生徒集会以多様な取組を各委員会で行うことができた。 ○生徒たちが目標を達成するためにどう動けばいいのか考えながら活動することができた。 ●集会の発表形式がパターン化されてきているので、従来の方法にとらわれず柔軟に動けるとよい。	3.5	3.6	[指標9] ※生徒会活動は、榎原中の伝統であるので、これからも生徒一人一人が積極的に参加してくれることを期待しています。 ※集会の発表形式がパターン化されてきているとあるが、パターン化は柔軟化の前段階なので、この後は是非つなげてあげて欲しい。 [指標9・10] ※生徒の積極性を評価したいです。運動会・文化祭が見られないのは大変残念です。 [指標10] ※コロナ禍での体力向上は難しいものがあると思いますが、先生や生徒や家庭で、それぞれ工夫して頑張ってください。 [指標11] ●相談できる環境作りが必要(?)生徒・保護者の評価の差が大きい。		
		保護者	3.3						
		教師	3.4						
	10 体育的行事や部活動を通じた体力の向上	生徒	3.8	○持久走大会の練習に自ら進んで取り組む姿が見られた。 ●部活動生以外へ運動への働きかけについて、声かけの機会等がなく難しい面がある。 ★学校行事との関連で定期的に運動について話しやすいときに、機会を逃さず話題にする。	3.5	3.8			
		保護者	3.6						
		教師	3.1						
	11 教育相談の充実や食育・性教育・安全教育の推進	生徒	2.6	○教育相談を学期1回は行うことができた。 ○性に関する教育を通して、命の大切さについて学ぶことができた。 ●★生徒が悩み等があっても相談できない状態もあることがわかったため、3学期の教育相談では、これまで以上に生徒に寄り添い、きめ細やかな対応をしていく他、日常的に相談できる体制づくりを行う。	3.1	3.2			
		保護者	2.9						
		教師	3.8						
	12 「求食」による感謝の心の育成	生徒	3.3	○給食の食べ残しもなく、生産者や調理員など給食に関わる方へ感謝して食事をとることができている。 ●★一部好き嫌いのある生徒がいるが、今後もできる限り食べるよう指導を続けていく。	3.4	3.8			
		保護者	3.5						
		教師	3.4						
保護者や地域社会と連携し、地域に根ざした教育を推進する。	13 総合的な学習の時間の充実	生徒	3.9	○コロナ禍で体験学習の実施が難しい中、1年生が「榎原・油津・飢肥訪問学習」2・3年生「職場体験学習」を行うことができた。 ○それぞれの生徒が学習を通して自らのキャリアについて考えを深めることができた。	3.6	3.8	[指標13] ※コロナ収束後の活躍に期待します。 [指標14] ※さらなる向上を期待します。 [指標15・17] ※情報発信を自らできる子供たちになって欲しい。出来事でも、思ったことでも、自分で発信できるようになって欲しい。 ※HPもですが、広報を楽しみにされている地域の方がいらっしゃるようです。 [指標13~17] ※コロナ禍の中での活動はいろいろな制約を受けて大変だと思います。来年度は、活動の範囲が広がると良いですね。これからも学校、家庭、地域社会と密に繋がりを持って活動できることを期待しています。		
		保護者	3.6						
		教師	3.3						
	14 小中一貫教育・連携教育の充実・推進	生徒	3.6	○小中学校で連携して学校行事を行い、児童生徒に達成感や成就感を味わわせることができた。 ●コロナウイルス感染症の影響により小中合同授業研究会が全員参加では行えなかった。 ★今後も学校行事、共通実践をとおして連携を深めていきたい。	3.4	3.6			
		保護者	3.6						
		教師	3.2						
	15 通信等を活用した積極的な情報発信	生徒	3.4	○学校行事のプレスリリースに努め、多くの活動が新聞に掲載されたりテレビ放映されたりした。 ○毎週の学級通信、毎月の学校便り、行事ごとのホームページ掲載と学校の様子を発信できた。	3.6	3.8			
		保護者	3.4						
		教師	3.7						
	16 地域行事への積極的参画	生徒	3.8	○七夕祭りが中止となったが、学校支援地域コーディネーターと連携して地域の方を講師として招き、門松づくりを実施できた。 ○コロナ禍で地域行事への参加が難しい中でも、敬老会にメッセージDVDを贈ることができた。	3.5	3.8			
		保護者	3.4						
		教師	3.3						
	17 SNSを活用した積極的な情報提供	生徒	3.9	○学校安心メールを活用して緊急時やコロナウイルス感染症が流行したときも確実に連絡事項を周知することができた。 ○ホームページを学校行事ごとに更新して新鮮な情報を提供することができた。	3.8	3.9			
		保護者	3.9						
		教師	3.7						
	榎原中に入学して(させて)よかったか。		生徒	3.9	○★今後も、榎原中に通ってよかった(通わせてよかった)と感じられる学校づくりを行っていく。	3.8		3.9	※昨年に比べ保護者の評価が下がっているようだが、高評価でうれしく思います。 ※榎原小中の素晴らしい環境や人との繋がりをこれからも大切に成長してください。 ※生徒が3.9でほぼ満足してくれているのがうれしい。ありがとうございます。
	保護者	3.7							
教師	3.7								